

## 来年度の市民部会の取組について

## 1. 広報ちがさき（欄外）について

## (1) これまでの振り返り

- 令和元年度の市民部会

## 【委員からの主なご意見】

- ・ 議論ばかりで進展がない
- ・ 完璧を求めず、まず進めよう
- ・ 継続が重要
- ・ 肯定的な表現で「・・・してくれてありがとう！」が良い

## 【結論】

- ・ 直ぐに取り組む独話方式の普及啓発の一つとして「広報ちがさき欄外」取組決定

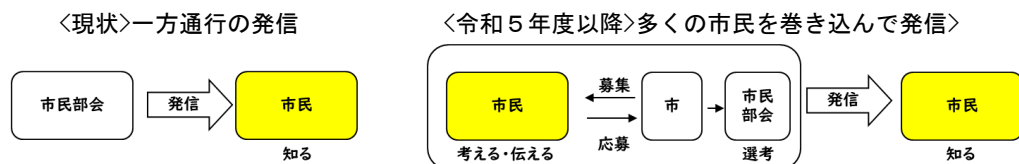
- 令和元年 11 月号～

- ・ 「あなたの“ひと言”にありがとう！」の連載開始
- ・ 障がい特性毎に月替わりでまちなかでのありがとうのエピソードを掲載
- ・ 広報ちがさき作業部会内で委員の輪番により掲載記事作成

- 令和 4 年度第 1 回市民部会

## 【事務局提案】

- ・ 市民部会からの一方通行の発信ではなく、多くの市民を巻き込んだ形へと転換



## 【結論】

- ・ 市民から心のバリアフリーにまつわる川柳を募集し掲載することを決定

- 令和 4 年度第 3 回市民部会

## 【事務局提案】

- ・ 募集方法・審査方法・お題の提案

## 【委員からの主なご意見】

- ・ 若い世代をターゲットにする等、年齢を限定する回を作っても良いのではないか
- ・ 若い世代は、つぶやきの方がなじみ深いのではないか

- ・お題は障がい限定されないよう、ハード面やソフト面など偏りのない方がよい
- ・何よりもたくさん川柳が集まらないことには話にならない
- ・数を集めることが前提
- ・なぜ1・2位までしか載らないのか

#### 【結論】

- ・どれだけ募集があるかも分からないので、まずは限定せず実施する
  - ・お題は、障がい特性に偏りの出ないようにバランスを取り、12個とする
  - ・12個のお題から好きなものを選んで投句する
  - ・掲載スペースの関係で2句までしか載せられない
  - ・川柳サークルの審査のポイントによる川柳としての完成度や専門性にこだわらず、審査員である市民部会委員が心を打ったもので選ぶ
- ・ 令和5年1月～3月「第1回 心のバリアフリー川柳」募集
    - ・ 540件の応募
    - ・ 応募の多かった川柳から委員の皆様へ審査を依頼（令和5年4月）

#### ・ 令和5年度第1回市民部会

##### 【事務局提案】

- ・ 応募の多かった6つのお題の審査結果を発表
- ・ 応募の少なかった6つのお題は今後審査を依頼
- ・ 掲載順として「応募の多かった順」と「具体抽象の順」等を提案

##### 【委員からの主なご意見】

- ・ 応募が多かったお題が2位までしか選ばれないのはもったいない
- ・ 1つのお題で2つに限定せず、心を打ったものを選ぶでよいのではないか
- ・ 応募が少なかったお題の場面でも困っている人がいて支援が必要であることを伝えることも大事
- ・ まだ審査していない応募の少ないお題の中にも良い川柳があるかもしれない

##### 【結論】

- ・ 掲載スペースの関係でひと月あたりは2句まで
  - ・ 障がい特性に偏りの出ないようお題はバランスをとる
  - ・ 6月・7月までは応募の多かった「絆」「手話」の順として、8月以降は今後審査するものも含めて掲載順を検討することとした
  - ・ 今回は初回ということで、試しにやってみた結果を次回に生かすこととした
- ・ 令和5年度第2回市民部会
 

##### 【事務局提案】

- ・応募の少なかった6つのお題の審査結果を発表
- ・8月以降の掲載順として「応募が多かった順」「具体抽象の順」を提案
- ・3位以下への対応として合点5点以上で3位の4句を6月号と7月号に掲載を提案

**【委員からの主なご意見】**

- ・8月以降は具体と抽象、応募の多い少ないを織り交ぜるのがよいのではないか

**【結論】**

- ・具体と抽象、応募の多い少ないを織り交ぜて、7月号までの掲載順を決定

**(2) 事務局としての振り返り**

- ・応募数 540 件は、多くの市民を巻き込んだ形での発信という当初の目的をある程度達成できたのではないか
- ・一方で、応募者の年代、性別、居住地等の情報収集をしておらず、どの程度ターゲットに響いているのかは不明
- ・川柳の掲載先を広報紙に限定して募集したため、多くの応募があったにもかかわらず、活用の仕方が充分でなかった
- ・広報媒体として10～20代の広報紙の利用割合は低いことから、広報紙以外での募集の周知や川柳の掲載先を検討する必要

**(3) 事務局提案「第2回心のバリアフリー川柳」(別紙「参考資料」参照)**

- ・基本のフォーマットは第1回から引継ぎつつも、市民部会からのご意見や事務局としての振り返りを踏まえて、第2回を今後も継続することを提案

**<改善のポイント>**

- ・若い世代も巻き込んだ取組
- ・応募された川柳の活用先の拡大

広報ちがさき(欄外)での「心のバリアフリー川柳」の取組を振り返り、皆様のご意見を伺いたいと思います。

**2. その他の市民部会の取組について**

**(1) 教育啓発について**

**(2) 普及啓発について**